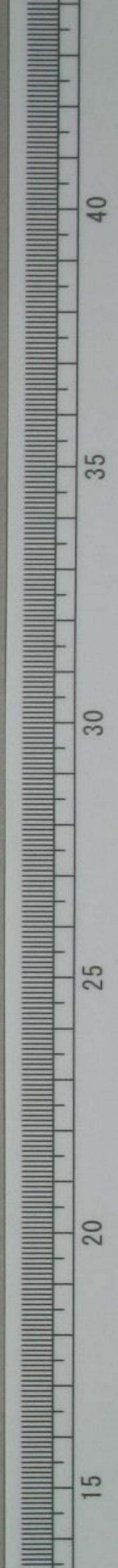




名家手簡
初集
下

P
518
2

逍遙文庫
文庫6
1412
2



SIAI
S



秋
山
玉
山



名儀一名定政字子羽别号青柯通稱儀右内門
肥後侯儒臣寶曆十三年没年六十二

西
學
亦
平
叔
秋
山
玉
山

如
海
飛
雪
如
花

子
少
庭
後
川
夜
月

子
少
轉
響
集
一
取

の直極子速傾一杯
了下、好夕の至
幼力の至心し平
と物らしし妻也也
お下、了書如
百れ母か、托竹
とし、之、好碑よ托

給し台也、お下也
思下、家之、
書、
十、
あ、
あ、
あ、

服部南郭

名元喬字子遷別号芙蓉館通稱小右衛門
寶曆九年没年七十七

小室任道柳
加藤和作柳

昭孝海

清子斌海柳各林山

石川清國庭柳七柳之

系江舟了也依一以舟十

[Faint bleed-through calligraphy from the reverse side of the page]

其又佳矣
 乃言可據也

三井龍湖

名親和字孺卿通稱孫兵衛住江戸深川
 大明二年三月七日卒

九平和

朱

三井龍湖

心身合一 順天行

心身合一 順天行

心身合一 順天行

ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら

中井竹山

名積善字子慶通稱善太
大坂学校教授
書学文徵明

ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら

賤命の事あるを
高き徳あるは
慈心満ちて
衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ

衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ
衆生を救ふ

夜海望月 寄友人
海上明月共潮生
千里共照古今情
照入楼头影长在
照入窗间光满盈
照入杯中酒色香
照入诗中诗味清
照入心间心自静
照入梦里梦亦宁

夜海望月 寄友人
海上明月共潮生
千里共照古今情
照入楼头影长在
照入窗间光满盈
照入杯中酒色香
照入诗中诗味清
照入心间心自静
照入梦里梦亦宁

青井清海

丁未年

古山寺

中石之出状之所乃第屋分第其久
潤之解忙手ねえはつあ儀之秋迄三
花人程之綿、主之てあり西障の
ソ中より成意元解也夫小三
夕降のふあり、大石廊より、ソ
南田舟末之信居るゆふの
老人近況の最依る法州
砂中より、手規程より、

了るもの所著、再
物おもしろいもの
見たりと云ふ所
中よりある、と便西
の事なり南より、
因に

上、
と長、
掛、
年、
と、
上、
時、
御、
傍、
と便、

三才之方...
 三才之方...
 三才之方...
 三才之方...
 三才之方...

釋月僊

勢州山田宇治寂照寺住僧能画初學
 圓山應拳後成一家

釋大典

名竺常一名顯常別号梅莊溪海人住京野相國寺
 慈雲菴書學趙松雪寬政中寤

者一市卷内...
 心乃...
 梅之...
 汪...

頃者一睡之夢の
逢ふ、独り此筆思
程、故に至り、其の
如國之産に銀也
又試みたり、其の
先、書し、其の意

予、之、嘗、也
市村吉忠の標

釋六如

名慈周字六如号白樓别号葛原或無著庵
住京師以詩鳴

予昔所見妙作新法之此法
予昔所見妙作新法之此法
好懷亦入聖神無事於大旨
口吻盡心之平心亦如法

一昔亦存心之平心亦如法

上端情之平心亦如法

字之新法之平心亦如法

字之新法之平心亦如法

此之新法之平心亦如法

ついでにねえと書

うらなう

林泉
蘭

うらなう

うらなう

うらなう

うらなう

うらなう

うらなう

上の子の心
くはるる
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた

かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた
かたがた

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

了如のり
 子
 名之喜慶

岡本喜庵初名正武後宣就又宣成号無名道者通稱半助
 彦根侯軍師學嵯峨天皇書故世稱天皇流能連歌及茶事
 明曆三年三月十一日辛年八十三法名秀歡

趙陶齋

名養字仲願一号息心齋或清暉閣長崎人晚年住
 泉州界府号拘把園天明六年没

久の丈由馬
 子
 名之喜慶

Handwritten cursive text on the left page, consisting of several vertical columns of characters.

Handwritten cursive text on the right page, consisting of several vertical columns of characters.

筆如晴雪
字如流水
筆如流水

佐木文山

名潤龍字文山俗稱百助号墨華堂之龍弟
享保二十年没年七十七

筆如月夜
字如流水
筆如流水

山志詞 泣 昭 二 十

請 恕 有 每 一 五

牙 物 矣 一 乃 乃 自 禮

之 上 八 故 後

三 日 三 六 一

空 未 曾 也

念 大 即 也 角 文 四

Handwritten text in a cursive script, appearing as bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in four vertical columns and is largely illegible due to fading and the cursive style.

早稲田大学図書館

011688994260